

# ほっかいどうの社会保障

2009年6月9日

北海道社会保障推進協議会

## もうやめようよ！障害者自立支援法

### 6.6大学習会 熱心に学び、討論

障道協と道社保協が主催した「もうやめようよ！障害者自立支援法」の大学習会が6月6日（土）に開かれ、障害者・家族や支援者など75人が参加しました。

学習講演は、障全協の白沢 仁事務局長がおこない、参加者は真剣に耳を傾け、時間がオーバーするほど熱く討論を行いました。

学習講演に先立ち片石松蔵障道協会長は、「この法律は障害者に大変な被害を広げ、自殺者まで出しています。私たちの運動で政府は見直しを余儀なくされましたが、『改正』の中身をしっかりと見極めよう」と挨拶しました。

#### 抜本的改善は先送り

白沢氏は「今回の法改正は、利用者負担問題、事業所の経営や人材難、実態にあわない障害程度区分問題など深刻化した諸問題を抜本的に改善すべきであるにもかかわらず、一年半あるいは3年後に先送りというもの」と批判。



#### 障害者が生きるために

#### 必要な支援に利用料は課すべきではない！！

『応能』か『応益』かの選択以前に、障害者が生きるために必要な支援に利用料を課すべきでなく、公的に責任を明確に位置づけ、国の責任で財源を確保すべきである」「住民税課税世帯からの利用料徴収、施設利用者の食費などの実費自己負担、自立支援医療における入院時食費負担の徴収はただちに中止すべき」と強調しました。

#### 「廃止」をめざして、共同を広げよう

むすびに白沢氏は「真に障害者の自立を促進し、親亡き後の不安を解消するためにも、利用料などの負担をやめ、生活できる所得保障などを確立した制度に転換すること。そのためには『自立支援法は廃止』しかない。地域で共同を広げよう」と訴えました。



#### シンポ 「考えよう！子どもの貧困」

日時：6月13日（土）13:30～16:30

会場：札幌社会福祉総合センター（大通西19）

資料代：500円

コメンテーター 青木 紀北大教授

主催：生存権裁判を支援する会・社保協・高教組・道教組

#### 北海道社会保障推進協議会第16回定期総会 学習講演 「現代の貧困にどう立ち向かうのか」

日時：6月20日（土）講演 14:00～15:15

総会 15:30～17:30

会場：かでの2.7 710会議室

\* 学習講演は誰でも参加できます



